

日本のアーティスト/コレクターの眼

# 魅せられて、 インド。



Collecting India: Fascination with Indian Visual Culture in Contemporary Japan

28の物語。  
インドに魅了された

日本とインドの美術交流

横山大観  
オボニンドラナト・タクル

アーティストが見たインド

秋野不矩

平山郁夫

沖守弘

妹尾河童

杉浦康平

横尾忠則

藤原新也

相原信洋

畠中光享

西岡直樹・西岡由利子

蔵前仁一

グレゴリ青山

インドを集めたコレクターたち

黒田豊(石版画・ガラス絵)

遠藤健一(石版画)

中嶋コレクション(石版画)

岩立広子(染織)

加藤豊(マッチラベル)

黒崎卓(切手)

関口真理(買い物袋)

松岡環(便箋・封筒)

すぎたカズト(映画ポスター)

山根聡(水キセル)

小磯学・小磯千尋(ガネーシャ神像)

杉本良男(パービー人形)

福岡正哲(現代美術)

長谷川時夫(民俗画)

藤原新也(インド「全東洋写真シリーズ」)1972年

2012年 1月21日<sup>[土]</sup>~3月11日<sup>[日]</sup> ◆開館時間:午前10時~午後8時(入場は午後7時半まで)  
◆休館日:水曜日

◆会場:福岡アジア美術館 / 企画ギャラリー(7階)  
◆主催:福岡アジア美術館、西日本新聞社、テレビ西日本  
◆後援:駐日インド大使館、公益財団法人日印協会 ◆助成:芸術文化振興基金

21 January - 11 March 2012 10:00-20:00 (Last Admission at 19:30) Closed on Wednesdays

◆Venue: Exhibition Gallery / Fukuoka Asian Art Museum (7F)  
◆Organizer: Fukuoka Asian Art Museum, The Nishinippon Shimbun,  
Television Nishinippon Corporation  
◆Supported by: Embassy of India, The Japan-India Association  
◆Assisted by: Japan Arts Council

イラスト: ©グレゴリ青山



福岡アジア美術館  
Fukuoka Asian Art Museum

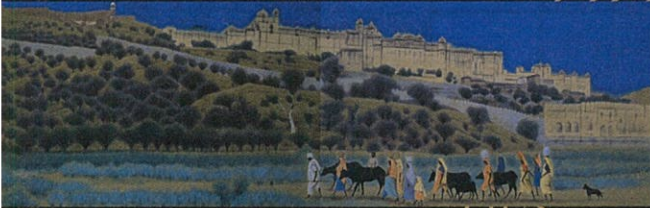


日本文化振興会

日本のアーティスト/コレクターの眼  
**魅せられて、インド。**  
 Collecting India: Fascination with Indian Visual Culture in Contemporary Japan

〈第1部〉  
**アーティストが見た  
 インド**

〈第2部〉  
**インドを集めた  
 コレクターたち**



平山郁夫《故城下村民帰牧図》  
 2002年 佐川美術館蔵



畠中光享《塩の行進》(部分) 2007年 個人蔵

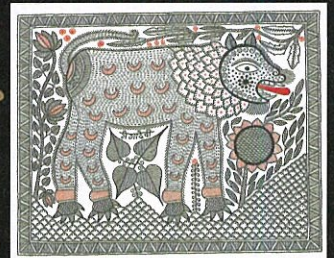


横尾忠則《悠久の愛》1991年

インドに  
 すっかり魅了  
 されてしまった！  
 そんな日本のアर्टイ  
 ストの作品と個人コレク  
 ターの秘蔵インドコレク  
 ションを一堂に公開します。  
 1960年代以降、毎年のように  
 インドに足を運びつづける彼／彼女  
 たちは、「混沌のインド」から、いったいどん  
 な発見をしたのでしょうか？ 本展では、こう  
 した日本人たちのインドの視覚表現の魅力  
 を見抜く眼力とその美意識に迫ります。



《子ども用衣装》(グジャラート州カッチ)  
 1980年 岩立フォークテキスタイルミュージアム



《上弦の月を吹べる獅子》  
 1995年 ミティラー美術館

**第1部アーティストが見たインド**では、インドを旅し、  
 インドの視覚文化に強く影響を受けた日本の画家、  
 グラフィック・デザイナー、写真家など、さまざまな  
 ジャンルのアーティストによる作品を紹介します。  
 また、アーティスト自身が集めたインドの絵画や彫刻などの  
 コレクションも併せて展示することで、どのようにインドを理解し、  
 自分の表現に結びつけているのかを探ります。

**第2部インドを集めたコレクターたち**では、日本の個人コレクターが  
 蒐集してきた多彩なコレクションを紹介。インドへの愛情に支えられた  
 コレクターたちの美意識やこだわりによって選び抜かれた絵画、印刷物、染織など、  
 これまで一般公開されることのなかった秘蔵コレクションです。  
 現在、経済発展やITで注目されるインドですが、こうした作品やコレクションを  
 とおして、戦後の日本がインドに対して抱いてきたイメージの変遷を  
 解き明かすことは、今後のインドと日本の関係を考える上で  
 新たな視点を与えてくれるでしょう。



《インドのバービー人形》  
 1995年  
 杉本良男コレクション  
 © 2011 Mattel, Inc. All Rights Reserved.

■関連イベント

講演会：妹尾河童(第1部出品者)  
 「『河童が覗いたインド』を語る」

- 日時：2月11日(土) 14時～15時半
- 場所：あじびホール
- 入場料：500円
- 定員：120名 ※要申込
- 申込期間：1月21日(土)～28日(土)消印有効
- ※住所/氏名/電話番号/「河童の講演希望」を記入し、往復はがき/Fax/E-mailのいずれかの方法で当館までお申込み下さい。定員を超えた場合は抽選し、2月4日までに当選者へご連絡します。

来場者に  
 妹尾氏からの  
 特製  
 プレゼント！

講演会：松岡環(第2部出品者)  
 「日本にやってきたインド映画～85年の歩みと広がり」

- 日時：2月12日(日) 14時～15時半
  - 場所：あじびホール ■入場無料
- 松岡環氏は1983年に初のインド映画祭を開催、以後その紹介に努めてきました。インド映画の日本語字幕翻訳者にして、アジア全域の映画にも詳しい松岡環氏のめくるめくる語りの世界へ。関連映像の上映もあります！

絵本で聞くインドの民話

展示作品の「ふしぎな国の ふしぎなミルク」と「サルボクマル」(西岡直樹・再話、西岡由利子・絵)の原画を見ながら、当館ボランティアによる絵本の朗読を聞きます。  
 ■日時：1月22日(日)、2月19日(日)、3月4日(日) 各日とも14時～14時半  
 ■場所：展示会場内  
 ※本展チケットが必要です

シネラで「インド映画特集」18本一挙上映！

- 会期：2月1日(水)～25日(土) ※月曜日、火曜日を除く
- 会場：福岡市総合図書館映像ホール・シネラ
- 観覧料：500円(一般)400円(高大生)300円(小中生)
- 問合せ：福岡市総合図書館/映像資料課 Tel:092-852-0600

ミュージアムショップ  
 「アベロッサ」  
 本展出品者の  
 秘蔵グッズを販売

FAAM CAFE

期間限定メニュー  
 「インド・セット」



交通案内  
 Transportation Access

- 市営地下鉄—【中洲川端】駅下車、6番出口すぐ 【福岡空港】駅より9分  
 【博多】駅より3分 【天神】駅より1分
- 西鉄バス—【川端町博多駅前】下車すぐ  
 ※「ぐりーん」バス【博多産・福岡アジア美術館前】下車すぐ
- 車—【大宰府方面から】都市高速千代【ランプ】より車で約7分  
 【北九州方面から】都市高速真服町【ランプ】より車で約5分  
 ※昭和通りより、博多リバレイン地下の駐車場(有料)をご利用ください。

◆観覧料：一般800(600)円、高大生500(300)円  
 中学生以下無料  
 ※( )内は前売、団体(20人以上)、福岡市発行のシルバー手帳・北九州市発行の年長者施設利用証・熊本市民または鹿児島市民で65歳以上が確認できるものを提示したときの料金。 ※身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳提示者およびその介護者1人は無料。 ※前売券は、ローンチケット(Lコード83914)、チケットぴあ(Pコード764-942)などで販売。 ※この料金をアジアギャラリー(コレクション展)もご覧になれます。

**福岡アジア美術館**  
 Fukuoka Asian Art Museum  
 〒812-0027 福岡市博多区下川端町3-1 リバレインセンタービル7-8階  
 7, 8th Floor, Riverain Center Bldg., 3-1 Shimokawabata-machi, Hakata-ku, Fukuoka, Japan  
 Tel:092-263-1100 Fax:092-263-1105 E-mail: faam@faam.ajibi.jp

■同時開催中の展覧会/アジアギャラリー 「キラキラ☆チカチカ〜光のアート」 1月2日(月)～4月3日(火)  
 「南アジアの現代美術—ネットワークから世界へ」 12月15日(木)～3月27日(火) ※本展のチケットでご覧になれます